

自己評価表

子どもサポート教室「きらり」草加校 平成 29年 12月 23日

子どもサポート教室では、各事業所が提供するサービスの質について、スタッフ自ら評価・点検をしています。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指し、お子様の幸せに貢献し続けるとともに、自己評価結果を公表することで、みなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

	チェック項目	取り組み状況
1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか	法令を遵守したスペースを確保しています。
2	職員の配置数は適切であるか	法令で必要とする配置数に加え、指導員又は保育士を一名以上配置(常勤換算による算定)しています。
3	常時見守り等が必要な子どもに対する対応等を想定して、通常基準より多い指導員数を配置する等の配慮がなされているか	法令で必要とする配置数に加え、指導員又は保育士を一名以上配置(常勤換算による算定)しています。
4	事業所の設備や教員教材等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか	楽しく通って頂けるように、明るく楽しい教室、内装を心掛けています。
5	事業所内の安全対策が十分に取られているか	教材・遊具・設備に関しては、定期的に点検を行い、危険性がないか確認しています。
6	事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか	清掃箇所等を定め、毎日清掃を行っています。教材に関しても定期的に消毒を行っています。
7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員参加しているか	月次・緊急時に職員参加のMTGを実施しています。
8	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様へ満足度調査を実施し、業務改善につなげています。
9	自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか	当社HPにて公開しています。
10	第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
11	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか	初任者研修の他、社内・社外の研修会に参加し、資質向上に努めています。
12	スーパーバイズ等を受ける体制を整えているか	より高い指導スキルをもつトレーナーやスーパーバイザーが指導員のスキルを評価し、共に計画をたてることにより、指導の質を担保し、すべての指導員が日々スキルアップできる仕組みを整えています。
13	アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	計画期間ごとにアセスメントやモニタリングを行った上で、個別支援計画を作成しています。
14	子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか	統一したアセスメントシートを利用し、状態把握に努めています。
15	子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか	お子様の特性把握、情報共有の報告会を設け、複数の職員でプログラムを立案しています。
16	子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	お子様一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる指導を追求します。次の学びにつながる成功体験を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとったり、学びやすい指導環境をつくります。
17	子どもの生活環境(平日、休日、長期休暇等)に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
18	子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
19	子どもの状況に応じて、家族支援、地域連携等の環境へのアプローチの視点を持って個別支援計画を作成しているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	朝礼を日次で実施し、職員間での情報共有を行っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援内容報告会を行い、お子様の様子等を共有する機会を設けています。
22	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援毎に支援記録を残し、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期またはお子様の状況に合わせて必要時に見直しを行っています。
24	ガイドラインの総則の基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供)を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。
25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようにしているか	お子様の支援について担当制はとっておりませんが、児童発達支援管理責任者をはじめ教室内全てのスタッフがお子様の状態を把握しチームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と指導を担当するスタッフ1名程度で参画することが多くなっております。

26	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校の先生やスクールカウンセラーの方などのご要望にお応えして学校での支援方法に関するご提案をおこなっています。
27	事業所内スタッフでの対応が難しい身体合併症等により医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その対応方法について具体的に協議されているか	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。
28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。
29	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内等の情報を提供するなどしているか、またはその体制ができていないか	連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。
30	事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか	外部専門家による研究や教材・プログラムの監修を行っています。
31	放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対しての支援を行っているか	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しいことから、イベント等で利用者全員に画一的に実施することはしておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施致します。
32	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	草加市障害児通所施設連絡協議会に参加し、市内の情報交換等に努めています。
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	支援毎終了後、保護者様へフィードバックの時間を設けています。
34	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか	支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。
35	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等を行っているか	当社にて実施しているペアレントトレーニングについて、情報提供を行っています。また、職員がペアレントトレーニングの知識を習得できるよう、研修を行っています。
36	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	運営規程、利用者負担等について、契約時にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。
37	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を随時実施しています。
38	保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関・他サービスにリファーする、もしくは情報提供等を行っているか	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を随時実施しています。
39	父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。座談会等を随時実施しています。
40	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内フローを定め迅速かつ適切に対応しています。
41	定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	教室内のお知らせボードにて、活動内容やイベントのご案内等を掲示しています。
42	個人情報に十分注意しているか	書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
43	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか	お子様・保護者様の状態に応じて、ICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
44	サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるよう努めているか	支援室に保護者様のスペースを確保し、希望に応じて支援の様子を見ることが出来ます。
45	地域住民、地域の関係機関に協力いただき事業所の行事を行う、など地域に開かれた事業運営を図っているか	イベントの様子を当社HPにて掲載しています。またご希望に合わせて教室公開等も行っています。
46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各々マニュアルを策定し、研修を実施しています。
47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月1回の避難訓練を実施しています。
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画にも記載しているか	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。
50	アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にすべてのお子様についてアレルギーの有無を確認しています。指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
51	ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間での共有、事故防止に努めています。